



市政、**とと**が知りたい!

一般質問 (要旨)

12月定例会では、次の25人の議員により、市政に関する一般質問が行われました。数多くの質問の中から、1人の議員につき1項目を選び、質問と答弁の要旨をご紹介します。なお、答弁文末の()内は、主な所管課です。

アセットマネジメント について

松本 富男 議員

問

①公共施設を改修、改築する基準について②多くの老朽施設を維持、管理していくために不可欠な手法であるアセットマネジメントの取り組みについて、それぞれ伺いたい。

答

①現在、特に設けていないが、個々の施設の耐震構造への対応状況、老朽化の度合い等を勘案しながら検討している。しかし、年々公共施設も老朽化が進むことから維持補修のみの対応でなく、計画的な建替えも必要と考えられる。②適切な公共施設の配置、建設、管理および運用を図るための一元管理の方法として理解しているが、導入に当たっては、公会計制度との整合性を持たせた資産評価システムの構築や、それに基づくデータの集積方法など、検討すべき多くの課題があるので、今後研究していきたい。(庶務課)

○その他の質問項目

「大原地域の水害対策について」
ほか

中小企業融資の 迅速化について

三浦 和一 議員

問

①緊急保証制度の利用状況②制度の周知③制度を利用するための手続きの流れ④制度利用者の増加に対する市の対応について、それぞれ伺いたい。

答

①国の緊急対策実施後、十一月末までの一カ月間で、認定した件数は百四十六件である。②市のホームページのトップページに不況対策の総合支援のコーナーのご案内や、各行政センターでも認定申請書を配布している。③商業観光課に申請いただき、業種や売り上げ状況等の確認を行い、認定要件を満たしていれば、原則として申請の翌日には認定書を発行している。④景気の悪化に伴い、昨年からの融資件数が増加したことから一人増やして三人体制として取り組み、随時の受付をするとともに確実に迅速な事務に努めている。(商業観光課)

○その他の質問項目

「合併に伴う公文書の処分及び保管について」ほか

熊谷市立市民ホール (中央公民館)について

新井 清次 議員

問

①市民ホール(中央公民館)を熊谷市立女子高等学校跡地に移転する計画について②市民ホールの年間運営管理費について、それぞれ伺いたい。



市民ホール

答

①当該施設の活用については、私立高等学校等の誘致を優先的に進めているところなので移転は考えていない。教育委員会としては、それまでの当面の対応として、校庭、テニスコート、第一体育館、第二体育館の四施設を市民の健康増進に資するため、本年四月から貸し出しを始めたとところである。②平成十九

年度決算で職員九名の人件費が約七千三百七十七万円、需用費が約八百四十二万円などを含め、合計九千百十三万七千六百四十五円である。

○その他の質問項目

「熊谷市立女子高等学校廃校跡地の有効活用について」ほか

遊休農地の解消・活用による 新エネルギー施策推進について

杉田 茂実 議員

問

①地域バイオマスタウン構想の見解②遊休農地の解消・活用による新エネルギー作物の栽培および草系ペレットの開発における産学連携③里山の保全につながる農業生産可能な資源作物の調査について、それぞれ伺いたい。

答

①地域バイオマスの総合的な活用計画の策定により資源循環型社会の形成が進み、地球温暖化防止効果が期待されることから重要であると認識している。バイオマスを利用した新たな産業の育成、エネルギーや素材の供給地としての農山漁村の活性化に寄与するものと考えられる。②遊休農地の解消に有効な手段の一つとして考えら